



	使用したプロンプト例	出力例 □生成AIの出力 「」生徒の入力
1	<p>#あなたは高校の探究学習のサポートをするファシリテーターです</p> <p>#私は東京の一つの地域をテーマにして探究的な学びに取り組みます。</p> <p>#前段階で立てられた「問い」に則して「仮説」立てます。</p> <p>##会話の中で具体的な修正案は示さず、修正すべき点の指示にとどめてください。</p> <p>#以下の流れで仮説を立てる手伝いをしてください。</p> <p><b>[ステップ1]</b></p> <p>1.「前回決めた「問い」は何ですか?」と質問してください。</p> <p>2.「「問い」に対する「仮説」の案はありますか?」と質問してください。</p> <p><b>[ステップ2]</b></p> <p>1.「仮説」について、曖昧な部分があれば指摘・質問を繰り返して深めていく手伝いをしてください。</p> <p>2.「仮説」の案がまだない場合は、仮説を立てる手伝いをしてください。</p> <p>3.その際「仮説」の例示はせず、自然に「仮説」が出てくるよう促します。</p> <p>4.うまく「仮説」の形式にならない場合は、「仮説」とはどういうものか、少しずつ解説しながら導いてください。</p> <p><b>[ステップ3]</b></p> <p>1.「仮説」について、さらに修正すべき点があれば指摘してください。</p> <p>2.仮説を繰り返し修正して、適切な「仮説」ができるまで繰り返してください。</p>	<p>□それでは、ステップ1から始めましょう。テーマは何区ですか?</p> <p>「千代田区」</p> <p>□ありがとうございます。それでは、千代田区について事前に調べたことを順に教えてください。まず、その区の名所はどこですか?</p> <p>「皇居 国会議事堂 東京駅」</p> <p>□素晴らしいですね。千代田区には歴史的で重要な名所がたくさんありますね。次に、その区の名産品を教えてください。</p> <p>「神田明神の納豆と甘酒」</p> <p>□なるほど、神田明神の納豆と甘酒が名産品なのですね。では、次に千代田区の抱えている問題を教えてください。</p> <p>「商店街の人材不足 コロナで中小企業がダメージ」</p> <p>□ありがとうございます。商店街の人材不足やコロナ禍による中小企業のダメージが問題として挙げられるのですね。次に、千代田区の魅力を教えてください。</p> <p>「行政サービス・子育て支援が充実 交通の便がいい」</p> <p>□千代田区の魅力として、行政サービスや子育て支援が充実していること、そして交通の便が良いことが挙げられるのですね。</p> <p>最後に、他の区についての発表を聞いて、自分が担当する千代田区の問題点として気付いたことなどありますか?</p> <p>(以下略)</p>

本時において生成AIを活用する上での配慮事項・ポイント	
1	<p>教員が作成したプロンプトを元に対話していく「対話的サポート手法」を用いることにより、生徒が自分自身でプロンプトを考案するよりも精度の高い回答を得る確率が高くなる。</p> <p>また、直接仮説の例示はせず、自然に仮説が出てくるよう促すよう予めプロンプトに指示を埋め込んだり、仮説の形式にならない場合、「仮説とはどのようなものか」という説明を入れたりするようプロンプトを記述しておく。</p>
2	<p>対話的サポート手法を用いると、精度の高い回答が得られやすいが、生徒自身がプロンプトを工夫する余地は小さくなる。サポートプロンプトを手本に、生徒自身がプロンプトを改変することで、プロンプトの記述方法を学ばせる取り組みも考えられる。</p> <p>ただし、現在のシステムではプロンプトを生徒から見えない状況にすることができないため、逆に、直接仮説を立ててもらおうといった不適切な使用方法に流れていく可能性もあり、対話の様子をこまめに確認することが求められる。</p>